

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジー
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-A308A/J	Rev.	第1版
題名	H8/38602R グループ ハードウェアマニュアル(Rev.3.00)における訂正 (2)		情報分類	技術情報	
適用製品	H8/38602R グループ	対象ロット等	関連資料	H8/38602R グループ ハードウェアマニュアル (RJJ09B0161-0300 Rev.3.00)	
		全ロット			

H8/38602R グループ ハードウェアマニュアル(Rev.3.00)におきまして、訂正がありましたので、ご連絡いたします。

なお、本文中の網掛け部分は Rev.3.00 との違いを示しています。

項目	ページ	修正箇所																																																																												
4. クロック発振器 4.2.4 内蔵発振器を選択する方法	4-4	<p>訂正前</p> <p>内蔵発振器を選択した場合、OSC1 端子、OSC2 端子に発振子を接続する必要がなくなります。 この場合、OSC1 端子を Vcc もしくは GND に固定してください。</p> <p>訂正後</p> <p>内蔵発振器を選択した場合、OSC1 端子、OSC2 端子に発振子を接続する必要がなくなります。 OSC1 端子を GND に固定もしくはオープンにしてください。OSC2 端子はオープンにしてください。</p>																																																																												
8. I/Oポート 8.1.5 端子機能	8-4	<p>追加</p> <p>【注】 x : Don't Care * CLKOUT 出力のクロック切り替え (osc、 osc/2、 osc/4) は、CLKOUT 出力を停止した状態 (CLKOUT=0) で設定してください。 システムクロック発振器が停止する低消費電力モード遷移時、出力レベルを保持します (スタンバイモードでは出力はハイインピーダンス)。 システムクロック発振器が停止する低消費電力モードからシステムクロック発振器が動作するアクティブモードに遷移する場合、遷移前に CLKOUT 出力を停止した状態 (CLKOUT=0) に設定してください。</p>																																																																												
11. リアルタイムクロック (RTC) 11.5 割り込み要因	11-10	<p>削除</p> <p>なお、0.5 秒と 0.25 秒割り込みは RTC が動作開始した後、約 3.46ms 後に必ず割り込みが発生します。その後 0.5 秒周期、または 0.25 秒周期に割り込みが発生します。</p>																																																																												
14. シリアルコミュニケーション インタフェース 3 (SC13、IrDA) 14.3.8 ビットレートレジスタ (BRR)	14-13	<p>訂正前</p> <p>表 14.3 ビットレートに対する BRR の設定例 (調歩同期式モード、ABCS ビット=1) (2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ビット レート (bit/s)</th> <th colspan="3">32.8kHz</th> <th colspan="3">38.4kHz</th> <th colspan="3">2MHz</th> <th colspan="3">2.097152MHz</th> </tr> <tr> <th>n</th> <th>N</th> <th>誤差 (%)</th> <th>n</th> <th>N</th> <th>誤差 (%)</th> <th>n</th> <th>N</th> <th>誤差 (%)</th> <th>n</th> <th>N</th> <th>誤差 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>110</td> <td>2</td> <td>86</td> <td>0.31</td> <td>2</td> <td>106</td> <td>-0.44</td> <td>2</td> <td>130</td> <td>-0.07</td> <td>2</td> <td>141</td> <td>0.03</td> </tr> </tbody> </table> <p>訂正後</p> <p>表 14.3 ビットレートに対する BRR の設定例 (調歩同期式モード、ABCS ビット=1) (2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ビット レート (bit/s)</th> <th colspan="3">2.4576MHz</th> <th colspan="3">3MHz</th> <th colspan="3">3.6864MHz</th> <th colspan="3">4MHz</th> </tr> <tr> <th>n</th> <th>N</th> <th>誤差 (%)</th> <th>n</th> <th>N</th> <th>誤差 (%)</th> <th>n</th> <th>N</th> <th>誤差 (%)</th> <th>n</th> <th>N</th> <th>誤差 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>110</td> <td>2</td> <td>86</td> <td>0.31</td> <td>2</td> <td>106</td> <td>-0.44</td> <td>2</td> <td>130</td> <td>-0.07</td> <td>2</td> <td>141</td> <td>0.03</td> </tr> </tbody> </table>	ビット レート (bit/s)	32.8kHz			38.4kHz			2MHz			2.097152MHz			n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	110	2	86	0.31	2	106	-0.44	2	130	-0.07	2	141	0.03	ビット レート (bit/s)	2.4576MHz			3MHz			3.6864MHz			4MHz			n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	110	2	86	0.31	2	106	-0.44	2	130	-0.07	2	141	0.03
ビット レート (bit/s)	32.8kHz			38.4kHz			2MHz			2.097152MHz																																																																				
	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)																																																																		
110	2	86	0.31	2	106	-0.44	2	130	-0.07	2	141	0.03																																																																		
ビット レート (bit/s)	2.4576MHz			3MHz			3.6864MHz			4MHz																																																																				
	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)	n	N	誤差 (%)																																																																		
110	2	86	0.31	2	106	-0.44	2	130	-0.07	2	141	0.03																																																																		

項目	ページ	修正箇所																																																																												
18. コンパレータ 18.5 使用上の注意事項	18-8	追加 3. CMCRO、CMCR1 レジスタの CME0、CME1 ビットを 1 にセットした場合、CKSTPR2 レジスタの COMPCKSTP ビットおよびすべての低消費電力モードにかかわらず、コンパレータ分の電流を消費します。コンパレータを使用しない場合は、CMCRO、CMCR1 レジスタの CME0、CME1 ビットを 0 にクリアしてください。																																																																												
21. 電気的特性 21.2.3 AC 特性 表 21.3 制御信号タイミング	21-14	<p>訂正前</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">記号</th> <th rowspan="2">適用端子</th> <th rowspan="2">測定条件</th> <th colspan="3">規格値</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">参照図</th> </tr> <tr> <th>min.</th> <th>typ.</th> <th>max.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">発振安定時間</td> <td rowspan="5">t_{rc}</td> <td rowspan="5">OSC1、OSC2</td> <td>セラミック発振子の場合 (V_{cc}=2.2 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>20</td> <td>45</td> <td rowspan="3">μs</td> <td rowspan="5">図 21.28</td> </tr> <tr> <td>セラミック発振子の場合 上記以外</td> <td></td> <td>80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水晶発振子の場合 (V_{cc}=2.7 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>300</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>水晶発振子の場合 (V_{cc}=2.2 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>400</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td>ms</td> </tr> </tbody> </table> <p>訂正後</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">記号</th> <th rowspan="2">適用端子</th> <th rowspan="2">測定条件</th> <th colspan="3">規格値</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">参照図</th> </tr> <tr> <th>min.</th> <th>typ.</th> <th>max.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">発振安定時間</td> <td rowspan="5">t_{rc}</td> <td rowspan="5">OSC1、OSC2</td> <td>セラミック発振子の場合 (V_{cc}=2.2 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>20</td> <td>45</td> <td rowspan="3">μs</td> <td rowspan="5">図 21.28</td> </tr> <tr> <td>セラミック発振子の場合 上記以外</td> <td></td> <td>80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水晶発振子の場合 (V_{cc}=2.7 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>300</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>水晶発振子の場合 (V_{cc}=2.2 ~ 2.7V)</td> <td></td> <td>600</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td>ms</td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	適用端子	測定条件	規格値			単位	参照図	min.	typ.	max.	発振安定時間	t _{rc}	OSC1、OSC2	セラミック発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		20	45	μs	図 21.28	セラミック発振子の場合 上記以外		80		水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.7 ~ 3.6V)		300	800	水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		400	1000	上記以外			50	ms	項目	記号	適用端子	測定条件	規格値			単位	参照図	min.	typ.	max.	発振安定時間	t _{rc}	OSC1、OSC2	セラミック発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		20	45	μs	図 21.28	セラミック発振子の場合 上記以外		80		水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.7 ~ 3.6V)		300	800	水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 2.7V)		600	1000	上記以外			50	ms
項目	記号	適用端子					測定条件	規格値				単位	参照図																																																																	
			min.	typ.	max.																																																																									
発振安定時間	t _{rc}	OSC1、OSC2	セラミック発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		20	45	μs	図 21.28																																																																						
			セラミック発振子の場合 上記以外		80																																																																									
			水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.7 ~ 3.6V)		300	800																																																																								
			水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		400	1000																																																																								
			上記以外			50	ms																																																																							
項目	記号	適用端子	測定条件	規格値			単位	参照図																																																																						
				min.	typ.	max.																																																																								
発振安定時間	t _{rc}	OSC1、OSC2	セラミック発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		20	45	μs	図 21.28																																																																						
			セラミック発振子の場合 上記以外		80																																																																									
			水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.7 ~ 3.6V)		300	800																																																																								
			水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 2.7V)		600	1000																																																																								
			上記以外			50	ms																																																																							
21. 電気的特性 21.4.3 AC 特性 表 21.14 制御信号タイミング	21-35	<p>訂正前</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">記号</th> <th rowspan="2">適用端子</th> <th rowspan="2">測定条件</th> <th colspan="3">規格値</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">参照図</th> </tr> <tr> <th>min.</th> <th>typ.</th> <th>max.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">発振安定時間</td> <td rowspan="5">t_{rc}</td> <td rowspan="5">OSC1、OSC2</td> <td>セラミック発振子の場合 (V_{cc}=2.2 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>20</td> <td>45</td> <td rowspan="3">μs</td> <td rowspan="5">図 21.28</td> </tr> <tr> <td>セラミック発振子の場合 上記以外</td> <td></td> <td>80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水晶発振子の場合 (V_{cc}=2.7 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>TBD</td> <td>TBD</td> </tr> <tr> <td>水晶発振子の場合 (V_{cc}=2.2 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>TBD</td> <td>TBD</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td>ms</td> </tr> </tbody> </table> <p>訂正後</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">記号</th> <th rowspan="2">適用端子</th> <th rowspan="2">測定条件</th> <th colspan="3">規格値</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">参照図</th> </tr> <tr> <th>min.</th> <th>typ.</th> <th>max.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">発振安定時間</td> <td rowspan="5">t_{rc}</td> <td rowspan="5">OSC1、OSC2</td> <td>セラミック発振子の場合 (V_{cc}=2.2 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>20</td> <td>45</td> <td rowspan="3">μs</td> <td rowspan="5">図 21.28</td> </tr> <tr> <td>セラミック発振子の場合 上記以外</td> <td></td> <td>80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水晶発振子の場合 (V_{cc}=2.7 ~ 3.6V)</td> <td></td> <td>300</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>水晶発振子の場合 (V_{cc}=2.2 ~ 2.7V)</td> <td></td> <td>600</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td>ms</td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	適用端子	測定条件	規格値			単位	参照図	min.	typ.	max.	発振安定時間	t _{rc}	OSC1、OSC2	セラミック発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		20	45	μs	図 21.28	セラミック発振子の場合 上記以外		80		水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.7 ~ 3.6V)		TBD	TBD	水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		TBD	TBD	上記以外			50	ms	項目	記号	適用端子	測定条件	規格値			単位	参照図	min.	typ.	max.	発振安定時間	t _{rc}	OSC1、OSC2	セラミック発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		20	45	μs	図 21.28	セラミック発振子の場合 上記以外		80		水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.7 ~ 3.6V)		300	800	水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 2.7V)		600	1000	上記以外			50	ms
項目	記号	適用端子					測定条件	規格値				単位	参照図																																																																	
			min.	typ.	max.																																																																									
発振安定時間	t _{rc}	OSC1、OSC2	セラミック発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		20	45	μs	図 21.28																																																																						
			セラミック発振子の場合 上記以外		80																																																																									
			水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.7 ~ 3.6V)		TBD	TBD																																																																								
			水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		TBD	TBD																																																																								
			上記以外			50	ms																																																																							
項目	記号	適用端子	測定条件	規格値			単位	参照図																																																																						
				min.	typ.	max.																																																																								
発振安定時間	t _{rc}	OSC1、OSC2	セラミック発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 3.6V)		20	45	μs	図 21.28																																																																						
			セラミック発振子の場合 上記以外		80																																																																									
			水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.7 ~ 3.6V)		300	800																																																																								
			水晶発振子の場合 (V _{cc} =2.2 ~ 2.7V)		600	1000																																																																								
			上記以外			50	ms																																																																							